



文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究(平成27~31年度)

# 高難度物質変換反応の開発を 指向した精密制御反応場の創出

## 第5回公開シンポジウム

【会 期】平成30年5月10日(木)9時00分~ 5月11日(金) 11時40分(予定)

【会 場】北海道大学クラーク会館講堂(北海道札幌市北区北8条西8丁目)

【交 通】JR「札幌駅」下車 北口より徒歩10分

【参加申込】当領域 webサイトのイベントページで受付けています。

<http://precisely-designed-catalyst.jp/jpn/events/index.html>

【参加費】無料

【懇親会】5月10日(木) 18時00分から北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」にて  
(懇親会参加費は当日受付にてお支払いください)

### 特別講演

榑 茂好

「d電子複合系による触媒反応:理解と予測への  
理論化学・計算化学アプローチ」

(京都大学福井謙一記念研究センター)

### シンポジウム講演

水野 哲孝 (東大院工)「固体触媒を用いた脱水素反応を鍵とする高難度分子変換」

市川 淳士 (筑波大数理)「フッ素脱離過程を活用する選択的 $sp^3$ 炭素-フッ素結合活性化」

斎藤 進 (名大院理)「精密水素移動場を用いるアミド基の形成と反応」

内田 竜也 (九大基幹)「分子状酸素活性化を用いたアレノール類のヘテロカップリング反応」

佐藤 哲也 (阪市大院理)「カルボン酸等の入手容易なビルディングブロックの触媒的変換反応」

生越 専介 (阪大院工)「Ni-NHC錯体によるC-F結合切断反応」

小池 隆司 (東工大化生研)「アルケン類に対するフルオロメチル二官能基化の新展開」

竹本 真 (阪府大院理)「メタロリガンドを利用した多核金属反応場の創出と分子変換機能の開拓」

林 高史 (阪大院工)「タンパク質キャビティーを反応場として駆使する新触媒の創製」

人見 穰 (同志社大院理工)「金属錯体の生体分子への精密固定化を基軸とする  
精密制御生体分子反応場の創出」

真島 和志 (阪大院基礎工)「トリメタルクラウンエーテルを配位子とする  
異種4核金属錯体の重合触媒への展開」

本倉 健 (東工大物質理工)「固体表面における金属錯体と有機分子の協奏効果を利用した  
高効率触媒反応」

■領域代表 / 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 真島 和志

■領域事務担当 / 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 林 高史

Tel: 06-6879-7928 Fax: 06-6879-7930 E-mail: pd-catalyst@chem.eng.osaka-u.ac.jp

Website: <http://precisely-designed-catalyst.jp/>

■主催 / 新学術領域研究「高難度物質変換反応の開発を指向した精密制御反応場の創出」総括班

■協賛 / 日本化学会

※シンポジウム終了後(5月11日(金)13:30~)に

ワークショップを開催します。奮ってご参加ください。

テーマ:「理論と実験の融合による高難度物質変換の反応機構解明にむけて」

詳細と参加登録については当領域のwebサイトをご覧ください。

